

琴海の夢・風 4月号

校訓 「自主」「敬愛」「健康」

教育目標 「自ら気づき、考え、互いを尊重し、
夢実現に努力する生徒の育成」

文責 長尾能博

自律した人が育つ琴海中学校に(^^)

令和5年度がスタートして2週間が過ぎました。始業式、入学式、歓迎遠足、そして体育大会に向けての取組など、次から次に目まぐるしくやってくることにもしっかりと子供たちも職員も対応しています。

特に、生徒会役員を始め、3年生、2年生の成長が頼もしいと実感しています。

さて、入学式、始業式で子供たちに同じことを話しました。それは今年頑張ってもらいたいことです。

【自律した人になってほしい】

そのために、新しいことに挑戦してできることを増やすこと。失敗しても何度でもやり直せばいい。できなかったことや失敗したことを人のせいや何かのせいにしないこと。

琴海中学校の教育目標を一言でいうと、「自律した人を育てる」です。

自律した人とは、自分で気づき、考え、自分で決めて行動できる人です。

すべての教育活動を通して、「自律」をキーワードにして取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

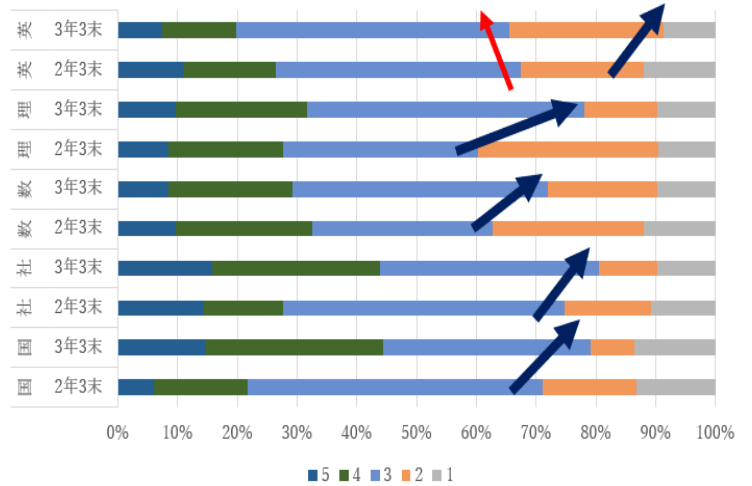
今年度の取組について

昨年度、定期テストを廃止し、単元テストを取り入れることで、短いスパンで学力定着の状況进行评估し、指導につなげるようにしました。また、授業を45分にするので朝から25分間の琴中タイムを設定し、主体的に学ぶ力の育成を図りました。

この2つ大きな変更は生徒も職員も大変でしたが、1年間の成果として、5教科の通知表の評定の1,2の数が昨年度の同じ学年末と比較して減りました。おおむね満足の評価である「3」以上が増えたと言うことになります。次のグラフは昨年度の3年生のものですが、英語以外は2年生の学年末よりも評定が1,2の割合が減っていることが分かります。

今年度も、単元テストによる生徒の学力の定着を図りながら、さらにまとめのテストを実施することでより確実に知識を身に付けさせます。

3年生（2年学末、3年学末の比較）



なお、45分授業については、昨年度休校などの影響により授業時数の確保が教科により困難だったことから、今年度は従来の50分授業に戻しました。そのことから、琴中タイムの時間を短くして実施することになりました。

短くなっても効果的なものになるように工夫しながら実施していきます。

以上が昨年度の取組をさらに手を加えていくことですが、今年度の新たな取組として、1年生の2人学級担任制があります。

1学級の生徒数の上限は40人と法律で決められています。今年度の1年生の通常学級の生徒数は当初81人を超えていましたが、転校等で入学直前に79人に減ってしまいました。

長崎県の取組で中学校1年生については、上限を35人で学級編制することも可能ですが、2年生以降は40人編制となることから、今年度から40人学級編制で行くことに決めました。

そこで、人数が多くなっても子供たちをしっかりと見ていくために2人学級担任制を取り入れることにしました。また、理解に差が生じやすい数学と英語についても免許を持った教員が2人で授業を行う、TT(チームティーチング)方式で行うことにしました。TTはこれまでも行ってきましたが、複数学級担任制については、市内の学校で取り入れているところがあり、効果的との話を聞いています。本校でもきっと成果がでると信じて実施しておりますので、保護者の皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。